

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2005-247368(P2005-247368A)

【公開日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-036

【出願番号】特願2004-60761(P2004-60761)

【国際特許分類】

B 6 5 D 85/86 (2006.01)

B 6 5 D 57/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 85/38 R

B 6 5 D 57/00 B

B 6 5 D 85/38 S

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月26日(2007.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本発明におけるガラス保護材は、ガラスを保護するためにガラスとガラスの間に挿入される成形体であり、ガラスを積層する際にガラスと該保護材を交互に積層してガラスを保護するための成形体でもある。

また、表面或いは内部に、布、織物、編み物、不織布、孔あきフィルム、微多孔膜、金網等、本発明の多孔性を阻害しないものとの複合化も可能である。また、熱安定剤、耐候剤、界面活性剤、帯電防止剤、脱臭剤、吸臭剤、防かび剤、抗菌剤、香料、フィラー等を必要に応じて添加しても良い。これら添加剤を加える際には流動パラフィン等の展着剤を用いることも出来る。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明を実施例に基づいて説明する。

【実施例1】

JIS K 6922-2-1997(条件;荷重2.16kg、温度190℃)によって測定したメルトマスフローレイトが0.00g/10分、密度が945kg/m³の超高分子量ポリエチレン粉末(商品名;サンファインUH、旭化成ケミカルズ(株)製)100重量部にポリオキシソルビタンモノラウレート0.3重量部を高速ミキサーで混合し、親水性粉末を得た。該粉末を厚み5mmのアルミニウム製の金型に充填し、金型の表面温度204℃になるまで加熱した後、室温まで冷却し、20cm角、厚み約2mmの多孔質焼結シートを得た。得られたシートの曲げ弾性率は95MPa、垂下距離は1mm、タイプDで測定したデュロメータ硬度は38、気孔率は38%、表面抵抗率は10¹⁰、通気抵抗は918mmAqであった。

該シートを厚み1.5mmで20cm角のガラスと交互に重ね合わせ、該シートを介し

て吸引したところ、該シートとガラスとを一体で搬送することが出来た。また、この操作を繰り返して該シートとガラスとを各々20枚交互に重ね合わせて積層し、その後、ガラス表面を目視で観察したが、ガラス表面に傷などの発生は認められなかった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

【実施例2】

JIS K 7210(条件；荷重2.16kg、温度190℃)によって測定したメルトマスフローレイトが0.08g/10分、密度が958kg/m³の高密度ポリエチレン粉末(商品名；サンファインSH、旭化成ケミカルズ(株)製)100重量部にポリオキシソルビタンモノラウレート0.3重量部を高速ミキサーで混合し、親水性粉末を得た。該粉末を、金属製の無端ベルト上に散布し、250℃に設定した炉の中を通して加熱した後、室温まで冷却し、厚み約2mmの多孔質焼結シートを得た。得られたシートの曲げ弾性率は310MPa、垂下距離は1mm、タイプDで測定したデュロメータ硬度は40、気孔率は35%、表面抵抗率は10¹⁰、通気抵抗は1200mmAqであった。

該シートの上に厚み1.5mmで1m角のガラスを載せ、その四隅をもって水平に移動したところ問題なく移動出来た。また、この操作を繰り返して該シートとガラスとを各々20枚交互に重ね合わせて積層し、その後、ガラス表面を目視で観察したが、ガラス表面に傷などの発生は認められなかった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

【比較例2】

JIS K 7210(条件；荷重2.16kg、温度190℃)によって測定したメルトマスフローレイトが0.00g/10分、密度が942kg/m³の超高分子量ポリエチレン粉末(商品名；サンファインUH、旭化成ケミカルズ(株)製)70重量部と、JIS K 7210(条件；荷重2.16kg、温度190℃)によって測定したメルトマスフローレイトが0.05g/10分、密度が958kg/m³の高密度ポリエチレン粉末(商品名；サンファインSH、旭化成ケミカルズ(株)製)30重量部とを混合し、親水性粉末を得た。該粉末を、金属製の無端ベルト上に散布し、250℃に設定した炉の中を通して加熱した後、室温まで冷却し、厚み約1mmの多孔質焼結シートを得た。得られたシートの曲げ弾性率は250MPa、垂下距離は30mm、タイプDで測定したデュロメータ硬度は20、気孔率は49%、表面抵抗率は10¹⁰、通気抵抗は200mmAqであった。

該シートの上に厚み1.5mmで1m角のガラスを載せ、その四隅をもって水平に移動しようとしたところ、ガラスは割れて移動できなかった。